

令和4年度 1月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	15回
2	延べ従事補導委員数	34人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	147人



1月の補導日誌から

1月4日(水) 専門補導委員 記

巡回経路 カラオケ店 → 中込グリーンモール → 成知公園 → 砂田公園
→ 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 大型スーパー

補導の様子

新型コロナウイルス第8波の中で新しい年を迎えた。まず足を運んだカラオケ店には、多くの客が訪れていた。店員さんに話をうかがうと、「家族連れのお客さんが多く、高校生のグループでの来店もある」と話してくれた。全室禁煙となっていて、酒類の提供も配慮されていた。中込グリーンモールのフリースペースに人影はなかった。成知公園は8名ほど、砂田公園は1組の親子連れが利用していた。また、市民交流ひろばは、酷寒の中、大勢の親子連れや子どもの姿が見られた。中には凧あげを楽しむ子どももいた。ミレニアムパーク内のプレイサークルには、バスケットボールやスケートボードを楽しむ高校生や子ども達の歓声が響いていた。大型スーパーの駐車場は、空を探すのが難しいほど混み合っていた。冬休み中ということもあって、ゲームコーナー、フードコートは、普段は見られないほど多くの親子連れや中高生でにぎわっていた。WITH コロナの新しいライフスタイルが浸透してきたことをひしひしと感じた。

1月5日(木) 専門補導委員 記

巡回経路 中込児童館 → 学童保育 → 成知公園 → 横町公園 → 平賀新町公園 → 水上公園
→ 橋場公園 → 成田公園 → 佐太夫町公園 → 佐久総合運動公園

補導の様子

薄日は差していたが、気温は4度前後。冷蔵庫の中にすっぽり入ってしまったように感じる街の様子。ほとんどの公園には人影がなくひっそりとしていたが、成知公園ではままごとをしている3人の児童を見かけた。たった3人でも公園に子どもたちがいると活気が感じられる。中込児童館に立ち寄った。学校は冬休みの最中だが、低学年が16人、高学年が3人利用していた。中込児童館は、「年末から年始にかけて1年間を通して6日間が唯一の休みです」と館長さんからうかがった。手厚い家庭支援が行われていることを改めて感じた。学童保育では、30人を超える登録者の中で、今日は12人が利用していると聞いた。庭では、寒さに負けず5～6人の児童が元気よくサッカーをして遊んでいる。ここでも子育て支援事業で子どもたちが育っている。



1月6日(金) 専門補導委員 記

巡回経路 布施温泉公園 → 協和大宮諏訪神社 → 望月児童館 → 若駒児童公園

補導の様子

補導委員宅へ連絡文書を配達しながら、望月地区内の街頭補導活動を行った。楽しく遊べる遊具がたくさん設置されている布施温泉公園を訪問した。残雪があり、また寒い日でもあり、遊具で遊ぶ姿はなかった。マレットゴルフ場を見ると

数人が楽しそうに残雪の中で遊んでいた。低学年の小学生とその母親のように思えた。寒い日にもかかわらず、日陰となった雪上で触れ合う母子の姿に素晴らしい母子だと安堵した。望月児童館は、4日1名、5日3名、本日は7名が弁当持参で児童館を利用したとのこと。訪問時2名の児童が静かに勉強していた。協和にある大宮諏訪神社・若駒児童公園には人影がなかった。

1月10日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 中嶋公園 → 東田公園 → 取出町ふれあい公園 → 旧大沢小グラウンド
→ 前山グラウンド → 泉団地内公園 → 城山公園

補導の様子

旧大沢小学校のグラウンドを訪問すると、小学校高学年と思われる児童3人がサッカーボールを蹴って元気に駆け回っていた。泉団地内の公園では、3人の児童が遊具で遊んでいた。全員が泉団地内に住んでいるとのことだった。下校時、公園で遊ぼうと約束して公園に集まって遊んでいるとのことだった。城山公園には8名ほどの小学生がいたが、全員が黄色のヘルメットをかぶり、自転車に乗って公園を去ろうとしている時であった。交通事故に気をつけて帰るように声かけすると「はい」と元気な声が返ってきた。訪問した他の公園やグラウンドには、誰もいなかった。



1月11日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 中込駅 → 中込グリーンモール → 横町公園 → 平賀新町公園
→ 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 佐太夫町公園 → 成知公園

補導の様子

穏やかに晴れ渡った空のかなたに浅間がくっきり見える。中込駅近くの不法駐輪自転車は、13台あった。グリーンモールのフリースペースの利用者はいなかった。横町公園、平賀新町公園、水上公園に人影はない。天気がよくても外気は冷たい。橋場公園、成田公園も閑散としていた。気を取り直して佐太夫町公園へ向かう。普段あまり子どもを見かけないこの公園だが、今日は多くの子どもたちが遊んでいた。サッカーをしていた3人連れの小学生は6年生、ブランコで遊んでいた4人の女兒は3人の姉妹とその友達、中学2年の男子生徒2人は学校の生活の様子をいろいろ話してくれた。成知公園を訪れると、大勢の子どもたちでにぎわっていた。小学校4年生だという2人の女子児童に話を聞くと、「鬼ごっこをしていたが、男子がサッカーに行ってしまう鬼ごっこが続けられなくなってつまらない」と話してくれた。とても誠実な受け答えに好感が持てたのでそのことをほめると、とても喜んでくれた。4時半を回ったが、まだ日は高い。

1月12日(木) 学校訪問(野沢小学校)

専門補導委員 記

概要

校長先生から、「補導日誌を読ませてもらっている。子どもの姿を見て声かけしている様子や認めてもらっている様子など大変ありがたく思う。これからもよろしくお願ひしたい」とのあいさつがあった。特徴的なことは、信州型コミュニティスクールが充実していること。地域の多くの方に講師等でお世話になっている。また、年間を通して全クラスに週1回、読み聞かせボランティアの皆さんが入ってくれている。クラブでは合唱部が全国的な活躍をみせている。コミュニティスクールの指導者がウインドオーケストラ部の指導を行ってくださっている。野沢の地域の皆さんは、学校のことをしっかり支えてくださっているので、学校から地域に発信していく活動も大事にしていきたい。コロナ禍でできなかった地域見学・社会見学を3年生、4年生は今年度行うことができた。児童は532名在籍している。児童数は減少傾向で、来年度の1年生は2クラスに減少する可能性がある。不登校傾向の児童は、校内の相談室や市のチャレンジ

教室で対応している。依存度が高くなるゲーム、スマホなどのメディアから離れられるようにしていかなければと考えている。

1月13日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 佐久総合運動公園 → 東公民館 → 旧志賀小グラウンド → 新子田八幡神社
→ 駒場北公園 → ひよこ公園 → 県立武道館 → 駒場公園

補導の様子



寒中とは思えない暖かさである。コロナ禍の下、専門補導委員のみの街頭補導活動が続いている。佐久総合運動公園を経て、東公民館に立ち寄った。学習室兼会議室、料理講習室、創作室などが設けられ、ヨガや茶道などの講座が開催されている。館長さんに話をうかがうと「学習室は、長期休業中に比べ、平日の利用者は少ない。コロナ感染の心配もあるが、冷暖房完備で、学習しやすい環境が整っているの、ぜひ多くの子どもたちに利用してほしい」と話された。旧志賀小グラウンドには、野球練習をする親子の姿が見られた。父親がノックするボールを小学生の男子児童が必死に追っていた。帰路を急ぐ小・中学生を見送りながら、新子田八幡神社、新子田住宅団地内の公園（駒場北公園、ひよこ公園）を巡回したが、人影はなかった。駒場公園駐車場は、多くの車で混雑していた。幼い男の子が一人で歩いていたので心配したが、ほどなく母親と車に乗り込んだのでほっとした。

1月16日（月）

学校訪問（東小学校）

専門補導委員 記

概要

コロナ感染レベルが改善されていないことから、専門補導委員3名で学校訪問を実施した。東小学校からは、学校長、教頭にご参加いただき、資料に沿って懇切丁寧な説明をいただいた。「全校児童 257 名、1学年1クラス、2～6学年2クラスで、特別支援学級5クラス。学校教育目標を『豊かな心を持ち よく考え 自分の力で生きぬく子ども』とし、つながろう、考えよう、きたえようの下に教育活動を推進している。児童数は減少傾向にあるが、縦割り清掃、姉妹学級、集団登下校など、少人数の現状を克服する取り組みを行っている。コロナ感染症が懸念されたが、泊を伴う6年生の修学旅行、5年生の登山・キャンプは実施できた。また、運動会は規模を縮小し、半日開催で実施した。音楽会はコロナの影響で延期となったが、実施できた。寒い朝も元気に校庭でサッカーをする児童の姿が見られる。状況をみながら、マスクをしなくてもよい生活への移行を考えたい」とお話しいただいた。私たちの活動を通して、健全な子どもたちの成長のお手伝いできれば幸いである。

1月17日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 下の宮公園 → 切原児童館 → 稻荷山公園 → 橋詰公園

補導の様子

切原児童館の庭で児童がボール蹴りをしていました。庭の隅を歩いていると「ティタイム！」と大声がし、児童はボールを蹴るのを中断しました。館長さんにお聞きすると「数年前、児童が蹴ったボールが来館者に当たってしまったことがあり、危険防止のため来館者が来たらボール蹴りを一旦中止しようと児童が自主的に決め、以降、切原児童館伝統の習わしになっている」とのことでした。「『ティタイム』の意味はお茶を飲むティタイムではなく、スポーツ競技中に、治療・水分補給・作戦を練るため一旦競技を停止する TIME-OUT（タイムアウト）の頭文字『T』を使い、ティタイム（T-TIME）と言っているのではないのでしょうか」とおっしゃっていました。他の人にけがをさせないという思いやりから児童が考え、そして上級生の良いところを下級生が受け継ぎ、何年間も継続しているということをお聞きし、大変うれしく思いました。訪問した3カ所の公園は、大寒を迎える厳寒期のためか来園者がおらず閑散としていました。

1月18日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 砂田公園 → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 近津南公園 → 大型スーパー

補導の様子

日差しはあるものの、ほほに当たる風は冷たい。砂田公園は、新しく誕生した佐久市の商業施設(フォレストモール佐久平)の南側に開設された公園である。当日は造園業者が樹木の苗木を植えていた。市民交流ひろばには、多くの親子連れの姿が見られた。市外の小学校に通っているという5人の女兒は、楽しそうに園内を駆けまわっていた。ミレニアムパーク内のプレイサークルでは、中学生が8名ほどバスケットボールを楽しんでいた。学校が終わって、一度帰宅してから集まったという。近津南公園では、6名の小学生が遊んでいた。おやつを持ち寄って話をしていた2人の女兒は、仲の良い同級生だという。2人で過ごす時間がとても楽しそうにみえたので、じゃまにならないようにその場を立ち去った。大型スーパーのフードコートは、女子の姿が目立った。中には参考書を広げて勉強する高校生も見られた。ゲームコーナーでは、スタッフが忙しく来店客の対応をしていた。年が明けて、客足がもどっている印象を受けた。



1月20日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 赤岩公会場 → 中佐都児童館 → 千曲川スポーツ交流広場
→ 根々井団地内公園 → 砂田公園

補導の様子

日差しがあり、気温が10度近くまで上がったが、風が強く体感温度はかなり低い。中佐都小、高瀬小学校区を中心に街頭補導を行った。自転車や徒歩で学校から帰る子どもたちの姿は、風にあおられて大変そうだった。中佐都児童館でお話を聞くと、34名の児童が利用していた。多い日には、60名以上になるという。学校では不審者情報により複数での下校や夕方一人での外出を控えるようにとの呼びかけがあったようだ。「私たちも改めて安心や安全を第一に気をつけています」と話されていた。庭では「かわり鬼しよう」と3名の児童たちが指導員さんを誘って楽しそうに遊んでいた。高瀬小学校区の田んぼの畦道では、学校帰りの児童4人が道草をして熱心に用水路をのぞいていた。魚でもいるのだろうか。危険な様子がなかったので見守るだけにした。新しくできた砂田公園は業者の方が入り、植樹が進んでいた。

1月23日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 パチンコ・スロット店 → 大型ゲームセンター → ネットカフェ
→ ゲームセンター → 曾根公園 → 仙祿湖公園 → 久保田公園

補導の様子

10年に一度ともいわれる大型寒波が到来するとアナウンスされている。それでも今日は、さほど寒さを感じない。久しぶりに訪れたパチンコ・スロット店は、多くの客でにぎわっていた。入口ドアには、「18歳未満の方のご入店は固くお断りいたします」と掲示されている。施設の一角にあるゲームコーナーに人影は見られなかった。次に立ち寄った大型ゲームセンターも人影はまばらで、店員さんは、「子ども同士という感じではなく、家族で来店する方が多い」と話してくれた。ネットカフェでは、6人の若者がダーツやビリヤードを楽しんでいた。個室は全体の5分の1ほどが利用されていた。近くのゲームセンターでは、若い女性スタッフが1人で店の対応をしていた。平日ということもあり、店内に客は見当たらないが、何台ものゲーム機が音と光を放っていた。曾根公園、仙祿湖公園、久保田公園を巡回したが、どの公園もひっそりと静まり返っていた。

1月24日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 若宮公園 → 砂田公園 → 市民交流ひろば → ミレニウムパーク → 大型スーパー
補導の様子

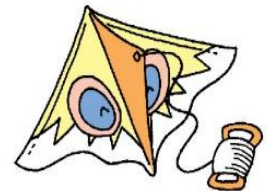
『今季最強の…』とか『10年に一度の…』などの枕言葉が付いた厳しい寒気の中での街頭補導活動となった。若宮公園・砂田公園・市民交流ひろば・ミレニウムパークは、予想通り人の気配は全くなかった。公園内には、パウダースノーがうっすら積もっていた。大型スーパー内も通常の様子とは異なり、買い物客もまばらだった。約400脚の椅子が設けられているフードコートの利用者はわずか20名ほどで、スマホを使ったり友人と会話したりする高校生の姿が若干あったが大人が大半を占めていた。ゲームコーナーにも10名ほどが遊んでいたが、ここもほとんどが大人であり、少年の姿はわずかだった。スケート場のようなアイスバーンの道路、瞬間的に出現するホワイトアウト、真横からの強風でハンドルを取られながら帰路についた。

1月25日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 野沢会館 → 城山公園 → 原公園 → 中嶋公園 → 成知公園
補導の様子

この冬一番の強い寒気の影響で、佐久地方も降雪に見舞われた。青空は見えるが、外気はたえがたいほど冷たい。車道に雪はないが、路肩には雪が残り、歩行には細心の注意が必要だ。野沢会館の自習室は、佐久市生涯学習センターへの移設のため、閉鎖されていた。巡回中、下校を急ぐ子どもたちの姿を多く見かけたが、この酷寒の中では、公園に出て遊ぶ子どもの姿は想像できない。ところが、城山公園に近づくと、子どもたちの歓声が聞こえてきた。4人の小学生が、池に張った氷の上に乗ろうとしている。「好奇心ってやつです」。浅い池ではあるが注意を促すと大きくうなずいた。原公園では、子どもたち6人と引率の職員が、雪遊びをしていた。見ているだけで寒そうで、早々に退散することにした。中嶋公園の歩道は雪かきがされていた。最後に立ち寄った成知公園では、1年から4年の小学生5人が遊んでいた。「寒くない？」とたずねると「厚着してきたから寒くない」と答え、サッカーを始めた。子どもは風の子。否、雪の子。寒さをもものともせず、元気に外で遊ぶ子どもたちには脱帽である。



1月26日(木) 学校訪問(青沼小学校)

専門補導委員 記

概要

校長・教頭・生徒指導主事の先生からていねいな説明をしていただきました。青沼小学校は、明治9年に建設された『要道(ようどう)学校』に由来し、本年度で150年を迎えたと学校要覧に記されていました。地域の方々に見守られ地域の学校としてしっかりと根を下ろしている伝統ある青沼小学校も本年度末をもって閉校となり、来年度からは臼田地区内の4小学校が統合され新『臼田小学校』となるのですが、教職員と49名の児童が閉校に向けて、記念誌の発行、記念音楽会・運動会などの閉校記念事業に取り組んでいるとのことでした。1学年6名から10名という小規模校から大規模校に移行することを楽しみにしている児童がいる反面、不安に思っている児童も少なからずいるようでした。大きな学校へと移行するわけですが、子どもたちにとっても学校と同じようにますます心も体も大きく成長してほしいと思いつつ学校を後にしました。

1月27日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 新子田八幡神社 → 東中学校通学路 → 若宮公園 → 砂田公園
→ 根々井公会場

補導の様子

雪の予報が出ている。曇天の中、見るからに寒々しい冬景色が広がっている。新子田八幡神社ではよく小学生に出会うことがあるが、今日は誰もいなかった。

帰宅途中の中学生は、フードをかぶり冷たい風を避けようとしながら道を急いでいた。東中学校近くでは多くの中学生に出会った。自転車を降り横断歩道を渡る様子は、自転車の乗り方の指導が行き届いていることが分かる。新子田団地内の狭い道路では、女子中学生2人が道を避けてくれたので、「避けさせちゃってごめんね」と車中から声をかけると、ニコッと笑顔を返してくれた。若宮公園の遊具が新しくなっていた。土管のトンネルがなくなり真新しいコンビネーション遊具が設置されていた。2人の児童が遊んでいた。砂田公園では、植樹の工事が盛んに行われていたが、ブランコでは2組の親子連れが楽しそうに遊んでいた。もうしばらく寒さは続きそうだ。

1月30日(月)

13班 (K・M記)

巡回経路 中込駅 → 中込グリーンモール → 成知公園 → 中込児童館 → 学童保育 → 放課後等デイサービス → 中込駅

補導の様子

中込駅近くのグリーンモールに放置自転車が20台位あった。また、2軒の空き店舗が自由に利用できる学習場(有料と無料)となっていた。(たまり場の不安も…?) 成知公園では、学校帰りの中学生2人がブランコをしていた。児童館では、名前が記されたのは55人、そのうちの20人位が雪のやんだグラウンドで声を上げて走り回っており、にぎやかであった。学童保育では、20人位がおやつを食べていた。利用者は、5年生が10人で一番多く、次は2年生とのことだった。野沢の放課後等デイサービスを教えていただき、身近にこのような施設があることを知り驚いた。

1月31日(火)

2班 (I・S記)

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 佐久平駅 → 大型スーパー

補導の様子

天気は良かったのですが、風が冷たく寒い日でした。市民交流ひろばの遊具は、今日は人気がなく、公園の奥では2人の女子高校生がスマートフォンで写真を撮っていました。声をかけると、元気に返答してくれました。管理事務所の方にお話をうかがうと、特に心配なことはないとのことでした。プレイサークルでは1人の青年がスケートボードを楽しんでいました。佐久平駅、大型スーパー内ゲームコーナーともに、数人の高校生を見かけましたが、フードコートは、いつもより学生や利用客が少ないように思いました。

＜1月の補導を終わって。 専門補導委員＞

立春を過ぎ、暖かな日差しに春が感じられるようになりました。先日久しぶりに家庭菜園に足を運ぶと、陽だまりに可憐なおオイヌノフグリを見つけました。中学校の時、担任だったT先生が、この花の名前の由来をお話してくださいました。花の姿からはイメージできない名前に、一部の男子からどっと笑いがもれました。興味があったら調べてみてください。

さて、11月7日より中止となっていた補導委員の皆さまの街頭補導活動ですが、佐久圏域の感染警戒レベルが引き下げられ、ようやく1月30日より活動が再開されました。補導日誌を開いてみると、昨年4月から補導委員の皆さまと街頭補導活動が実施できた回数はほぼ半分でした。委員の皆さまには、コロナの報道に神経をとがらせ、補導活動の有無にやきもきする日々を過ごされたことでしょう。

長野県は、2月10日県独自の医療アラート「医療特別警報」を解除すると発表しました。残り少ない本年度の活動ですが、コロナ感染症が収束し、安全に街頭補導が実施できることを心から願わずにはられません。